

会報 NEWS LETTER

紙リサイクルにもっとたくさんの方が参加する土台づくり。



Topics

- 令和7年度 事業報告
- 貸借対照表・正味財産増減計算書・財産目録
- 全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2026 募集開始のお知らせ



公益財団法人 古紙再生促進センター

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

目次

P2	理事会報告
P2	令和7年度 事業報告
P15	貸借対照表
P16	正味財産増減計算書
P18	財産目録
P19	公益財団法人古紙再生促進センター評議員名簿
P19	公益財団法人古紙再生促進センター役員名簿
P20	お知らせ
P20	全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2026 募集開始のお知らせ
P21	全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2026 募集案内チラシ
P22	センター日誌
P22	センター日誌 4月～6月分
P25	センター新入職員紹介



令和7年度 事業報告

令和7年度は、物価高、金利上昇、ウクライナ侵攻の継続やイラン情勢など、国内外における古紙を取り巻く環境が変化し続け、我が国の紙リサイクルが大転換期の渦中にある。当センターは2050年のカーボンニュートラルの達成や循環経済の実現に向けて、紙リサイクルの環境・経済・社会側面の統合的向上や全体最適を念頭におきつつ、古紙品質安定対策事業、広報事業、調査研究事業及び紙の資源リサイクル安定化対策事業を4つの柱として次のとおり実施した。

また、様々な社会課題解決に向けた布石は、2030年までがラストチャンスであり、その影響が未来の可能性を左右すると言われる時代であり、循環型社会形成に関する連携・協働のつなぎ手として資源循環の促進に向けた事業に努めた。

1. 古紙品質安定対策事業

国内での幅広い古紙利用の中、古紙品質の維持向上を図るための事業を実施した。



(1) 古紙品質調査事業（平成24年度から継続）

北海道地区、東北地区、関東地区、中部地区、近畿地区、中・四国地区、九州地区で発生する古紙について、製紙工場において古紙の開梱組成調査を実施した。

地 区	段ボール	新 聞	雑 誌
北海道地区	1工場 2ベール	1工場 2ベール	
東 北 地 区	1工場 2ベール		
関 東 地 区	5工場 10ベール	2工場 4ベール	10工場 20ベール
中 部 地 区	3工場 6ベール	2工場 4ベール	4工場 8ベール
近 畿 地 区	3工場 5ベール		2工場 4ベール
中・四国地区	2工場 4ベール	1工場 2ベール	1工場 2ベール
九 州 地 区	2工場 3ベール	2工場 4ベール	3工場 5ベール

段ボール、新聞、回収雑誌の開梱組成調査の結果は以下のとおりである。

【段ボール】	段ボール	その他紙 〈基準 3% 以下〉	禁忌品 (A+B) 〈基準 0.3% 以下〉
令 和 7 年 度	97.6%	2.2%	0.3%
令 和 6 年 度	98.2%	1.5%	0.2%
過去8年平均 ^注	97.5%	1.9%	0.6%

注) 過去8年平均は、平成28年度～令和5年度の8年間の平均。

【新 聞】	新聞	チラシ	その他紙 〈基準 1% 以下〉	禁忌品 (A+B) 〈基準 0.3% 以下〉
令 和 7 年 度	60.7%	36.9%	1.8%	0.5%
令 和 6 年 度	65.6%	31.1%	2.9%	0.4%
過去8年平均 ^注	63.2%	34.3%	2.2%	0.3%

注) 過去8年平均は、平成28年度～令和5年度の8年間の平均。

【雑 誌】	雑誌	チラシ・新聞	段ボール	雑がみ (その他の紙)	禁忌品 (A+B) 〈基準 0.5% 以下〉
令 和 7 年 度	29.9%	16.9%	1.3%	50.1%	1.8%
令 和 6 年 度 ^{注1}	31.7%	18.6%	1.2%	48.0%	0.6%
過去8年平均 ^{注2}	64.6%	17.2%	0.8%	16.6%	0.8%

注1) 令和6年度より回収雑誌古紙の開梱方法は、まずは綴じられたものを計量し、チラシ・新聞、段ボール、禁忌品の計量後、残りを「雑がみ(その他の紙)」とした。

注2) 過去8年平均は、平成28年度～令和5年度の8年間の平均。

(2) 古紙品質情報ネットワークの運用

古紙品質トラブル及び古紙品質情報の報告を全国で実施した。報告を受けた情報は、各地区委員会に報告するとともに全国製紙原料商工組合連合会の会員専用ホームページに掲載を依頼した。

古紙品質トラブルの報告件数は以下のとおりである。

() は昨年度件数

地 区	感熱性発泡紙	臭いのついた紙	昇華転写紙	ロウ段	その他	計
関 東 地 区	8 (3)	(1)	1	3 (7)	12 (2)	24 (13)
中 部 地 区					2 (2)	2 (2)
中 四 国 地 区					1	1
合 計	8 (3)	(1)	1	3 (7)	15 (4)	27 (15)

古紙品質情報の報告は製紙工場での受入れ時もしくは仕込み時の検収におけるもので、報告件数は以下のとおりである（令和7年4月～令和8年2月集計）。

【受入れ時検収】	感熱性発泡紙	臭いのついた紙	昇華転写紙	ロウ段	その他	計
北海道地区					1	1
東北地区					3	3
関東地区		411		61	161	633
静岡地区					166	166
中部地区		1			4	5
近畿地区		12		19	65	96
中・四国地区				1	218	219
九州地区		64	1	6	196	267
合 計	0	488	1	87	814	1,390

【仕込み時検収】	感熱性発泡紙	臭いのついた紙	昇華転写紙	ロウ段	その他	計
東北地区		1		6	30	37
関東地区			1			1
静岡地区						0
中部地区		4		2	48	54
近畿地区				2	3	5
九州地区				2	18	20
合 計	0	5	1	12	99	117

(3) 個別古紙品質対策

トラブル報告及び古紙品質報告の際に、臭いのついた紙の混入防止を呼びかけた。また、全国の盲学校及び点字図書館に感熱性発泡紙の混入防止への協力依頼を行った。

2. 広報事業

地方自治体職員や一般消費者、事業者、小中学生等を対象に啓発や情報発信に努め、特に課題となっている雑がみの啓発を重点的に行った。また、『全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト』については、継続して応募点数の増加等、

さらなる内容の充実を図った。



(1) 紙リサイクル啓発事業

1) 紙リサイクル研修会

ア 紙リサイクル研修会

主に一般市民や事業者を対象に全13回（参加人数573名）の研修会を実施した。また、研修用動画を作成し2自治体に提供した。

	実施日	実施場所	対象者	参加人数	形式	申込団体等
①	令和7年 8月9日	千葉県 茂原市	茂原市リサイクル推進委員会委員	34名	対面	茂原3地区リサイクル 推進委員会
②	8月28日	東京都 中央区	事業大規模建築物等廃棄物 管理責任者	144名	対面	中央清掃事務所
③	9月9日	岡山県 岡山市	紙卸商（大阪JP会会員）	36名	対面・ Web併用	日本紙パルプ商事(株) 関西支社 卸商部
④	9月25日	大阪府 東大阪市	紙卸商（大阪JP会会員）	57名	対面	日本紙パルプ商事(株) 関西支社 卸商部
⑤	10月23日	東京都 中央区	事業大規模建築物等廃棄物 管理責任者	100名	対面	中央清掃事務所
⑥	11月7日	山形県 酒田市	酒田市廃棄物減量等推進員	20名	対面	酒田市市民部環境衛生課
⑦	11月14日	石川県 金沢市	石川県再生資源事業協同組合、 金沢市等	13名	対面	石川県再生資源事業協同組合
⑧	11月19日	千葉県 茂原市	茂原市リサイクル推進委員会委員 （五郷地区）	19名	対面	茂原市リサイクル推進委員会 （五郷地区）
⑨	11月20日	静岡県 富士市	製紙分野関連技術者	46名	対面	富士工業技術支援センター
⑩	11月25日	千葉県 八千代市	八千代市廃棄物減量等推進員	20名	対面	八千代市経済環境部クリーン 推進課
⑪	12月22日	東京都 中央区	ラベル循環協会会員	28名	対面 オンライン併用	一般社団法人ラベル循環協会
⑫	令和8年 1月21日	大阪府 吹田市	事業系一般廃棄物排出事業者	32名	オンライン	吹田市環境部環境政策室
⑬	2月28日	奈良県 三宅町	三宅町町民	24名	対面	三宅町住民生活部 住民福祉課
⑭	令和7年 11月1日～30日	東京都 世田谷区	廃棄物管理責任者等	動画配信	—	世田谷区廃棄物管理責任者 講習会事務局
⑮	令和8年 2月3日～	奈良県 奈良市	大規模小売店舗及び特定建築物の 廃棄物管理責任者	動画配信	—	奈良市環境部廃棄物 対策課
研修会実施数：13回 ・ 参加人数：573名（令和6年度12件、1,122名）、研修用動画提供数：2自治体						

イ 自治体の新人廃棄物担当者向け研修会

古紙回収の促進は全国の自治体の協力無くして行うことは難しいことから、新任担当職員を対象に古紙を取り巻く十分な情報を共有することを目的としてオンラインでの研修を以下の内容にて実施した。

また、多くの方が視聴できるように動画をホームページに掲載した。

日 時	令和7年7月18日(金) 14時00分～15時30分
講 演	①「紙リサイクルの基礎知識」 (公財)古紙再生促進センター 業務部業務課 担当課長 濱野 彰吾
	②質疑応答

2) 紙リサイクル出前授業

主に小学校高学年児童を対象に全 95 回（参加人数 5,322 名）の出前授業を実施した。

地 区	地区別回数	実施日	対象校等・学年	形式	参加人数
東 北 関 東	①	令和7年10月31日	宮城県松島町立松島第二小学校	対面	28名
	①	令和7年 6月 3日	千葉県立磯辺第三小学校	対面	84名
	②	6月 5日	足立区立鹿浜五色桜小学校	対面	50名
	③	6月10日	足立区立北三谷小学校	対面	37名
	④	6月10日	加茂市立加茂小学校	対面	33名
	⑤	6月13日	足立区立東洲江小学校	対面	80名
	⑥	6月19日	足立区立千寿常東小学校	対面	84名
	⑦	6月20日	朝霞第四小学校	対面	97名
	⑧	6月24日	足立区立大谷田小学校	対面	53名
	⑨	6月26日	朝霞市立朝霞第六小学校	対面	62名
	⑩	6月30日	目黒区立緑ヶ丘小学校	対面	10名
	⑪	7月 4日	江東区立豊洲西小学校	対面	30名
	⑫	7月 7日	市原市立牛久小学校	対面	27名
	⑬	7月16日	足立区立桜花小学校	対面	54名
	⑭	7月25日	朝霞市	対面	32名
	⑮	7月26日	板橋区リサイクルプラザ	対面	14名
	⑯	7月30日	リサイクル千歳台	対面	15名
	⑰	7月31日	中野区	対面	16名
	⑱	8月 5日	世田谷区松原まちづくりセンター	対面	24名
	⑲	8月 7日	中央区立環境情報センターエコノバ	対面	16名
	⑳	8月22日	むさしのエコreゾート	対面	20名
	㉑	9月 8日	横浜市立旭小学校	対面	37名
	㉒	9月19日	朝霞第二小学校	対面	132名
	㉓	10月 6日	横浜市立高船台小学校	対面	28名
	㉔	10月 8日	台東区立東浅草小学校	対面	60名
	㉕	10月23日	川越市立高階小学校	対面	113名
	㉖	10月23日	足立区立千寿桜小学校	対面	81名
	㉗	10月29日	足立区立東伊興小学校	対面	80名
	㉘	11月13日	横浜市立川和東小学校	対面	31名
	㉙	11月20日	足立区立弥生小学校	対面	47名
	㉚	12月 8日	川崎市立木月小学校	対面	67名
	㉛	12月16日	港区飯倉保育園	対面	18名
	㉜	令和8年 2月14日	板橋区立加賀小学校	対面	39名
	㉝	2月18日	横浜市立瀬谷第二小学校	対面	34名
静 岡	①	令和7年 6月 5日	富士市立吉永第一小学校	対面	39名
	②	6月11日	富士市立東小学校	対面	6名
	③	6月17日	富士市立富士見台小学校	対面	42名
	④	6月20日	富士市立吉永第二小学校	対面	9名
	⑤	7月 3日	富士市立伝法小学校	対面	114名
	⑥	7月 9日	富士市立須津小学校	対面	94名
	⑦	7月14日	富士市立天間小学校	対面	44名
	⑧	7月16日	富士市立丘小学校	対面	135名
	⑨	7月23日	富士市元吉原児童クラブ	対面	42名
	⑩	7月28日	富士宮市学童クラブ いいお家	対面	29名
	⑪	8月27日	富士市立原田小学校	対面	55名
	⑫	9月 4日	富士市立広見小学校	対面	96名
	⑬	9月12日	富士市立吉原小学校	対面	65名

地 区	地区別回数	実施日	対象校等・学年	形式	参加人数
静 岡	⑭	9月16日	静岡市立清水船越小学校	対面	33名
	⑮	11月13日	裾野市立南小学校	対面	34名
	⑯	11月20日	富士市立田子浦小学校	対面	106名
	⑰	11月21日	富士市立富士南小学校	対面	147名
中 部	①	令和7年 5月22日	名古屋市立辻小学校	対面	43名
	②	5月28日	一宮市立開明小学校	対面	57名
	③	6月10日	桑名市立伊曾島小学校	対面	26名
	④	6月19日	桑名市立伊曾島小学校 悠分校	対面	11名
	⑤	6月17日	名古屋市立千石小学校	対面	33名
	⑥	6月20日	名古屋市立平針南小学校	対面	79名
	⑦	6月24日	名古屋市立大和小学校	対面	52名
	⑧	6月24日	桑名市立益世小学校	対面	54名
	⑨	6月27日	桑名市立城南小学校	対面	75名
	⑩	6月30日	名古屋市立伝馬小学校	対面	52名
	⑪	7月 3日	桑名市立深谷小学校	対面	22名
	⑫	7月 4日	名古屋市立平針小学校	対面	84名
	⑬	7月 7日	名古屋市立牧の原小学校	対面	28名
	⑭	7月 9日	岐阜市立本荘小学校	対面オンライン併用	82名
	⑮	7月10日	名古屋市立大高小学校	対面	104名
	⑯	7月11日	名古屋市立本地丘小学校	対面	11名
	⑰	7月11日	豊田市立藤岡南中学校	対面	130名
	⑱	7月15日	名古屋市立万場小学校	対面	60名
	⑲	7月16日	名古屋市立城西小学校	対面	97名
	⑳	8月 7日	豊田市緑化推進センター	対面	70名
	㉑	8月20日	松本市旭町放課後児童クラブ	対面	70名
	㉒	8月26日	瀬戸市本地地域力向上委員会	対面	60名
	㉓	9月 4日	桑名市立多度東小学校	対面	8名
	㉔	9月10日 12日	名古屋市立松栄小学校	対面	155名
	㉕	9月12日	瑞穂市立穂積小学校	対面オンライン併用	124名
	㉖	9月17日	名古屋市立平子小学校	対面	73名
	㉗	9月18日	豊田市立元城小学校	対面	51名
	㉘	9月18日	名古屋市立星ヶ丘小学校	対面	85名
	㉙	9月26日	桑名市立長島北部小学校	対面	14名
	㉚	10月 2日	田辺市立中芳養小学校	対面	25名
	㉛	10月 8日	名古屋市立八事東小学校	対面	97名
	㉜	10月16日	茂来学園 大日向小学校	対面	61名
	㉝	10月29日	桑名市立多度北小学校	対面	13名
	㉞	12月11日	美濃加茂市立古井小学校	対面オンライン併用	124名
	㉟	令和8年 1月31日	名古屋市植田東リサイクル推進会	対面	40名
	㊱	2月 4日	東郷町立春木台小学校	対面	51名
近 畿	①	令和7年 8月 4日	岸和田市消費生活センター	対面	25名
	②	8月15日	芦屋市	対面	30名
	③	9月 6日	伊丹市立笹原小学校	対面	100名
中 国	①	令和7年 6月10日	岡山市立妹尾小学校	対面	74名
	②	7月17日	高松市立高松第一中学校・小学校	対面	28名
九 州	①	令和7年 7月11日	延岡市立一ヶ岡小学校	対面	36名
	②	8月27日	八代市立麦島小学校	対面オンライン併用	45名
	③	令和8年 3月18日	宮崎市立瓜生野小学校	対面オンライン併用	40名
実施数：95回、参加人数：5,322名(令和6年度68件、4,103名)					

3) 地域広報活動

各地区委員会で環境関連イベントの参加など以下の紙リサイクル啓発活動を実施した。

地 区	開 催 日	開催地	行 事 名	内 容
北海道	令和7年9月20日	北海道旭川市	北海道リサイクルペーパーフェア	雑がみさまを探せ!の啓発、紙すき体験、古紙の分別体験、啓発資料・ノベルティの配布
静 岡	令和7年8月 1日	静岡県富士市	静岡県工業技術研究所フェア	雑がみさまを探せ!の啓発、分別パネル展示、紙リサイクルノート配布
中 部	令和7年9月13日	愛知県名古屋市	環境デーなごや	雑がみさまを探せ!の啓発、分別ゲーム、紙リサイクルノート配布
	11月 1日 2日	石川県金沢市	いしかわ環境フェア	雑がみさまを探せ!の啓発、分別ゲーム、紙リサイクルノート配布
九 州	令和7年11月8日 9日	福岡県北九州市	北九州エコライフステージ	雑がみさまを探せ!の啓発、分別ゲーム、紙リサイクルノート配布
	令和8年1月14日 2月 3日 2月13日	福岡県北九州市	古紙リサイクルバスツアー	北九州市内の小学校を対象に古紙の回収・流通・再生の現場の見学会

4) 紙リサイクルセミナー

時宜を得たテーマを選定し、YouTube でのライブ配信、録画配信を継続して、次のとおり開催した。

日 時	令和7年10月17日(金) 13時30分 ~ 16時15分
会 場	星陵会館
講 演	①「自治体の抱えるごみ処理問題解決に向けて求められる知恵」 日本経済新聞社 杉本 耕太郎 氏
	②「ごみゼロ社会の実現に向けて一減量化の出発点『自分ごと化』を考える」 東洋大学 名誉教授 山谷 修作 氏
	③「激動の国際環境下における製紙原料ビジネスの行方と日本の進路」 国際紙パルプ商事株式会社 上席執行役員 第1事業統括本部副本部長 兼 製紙原料営業本部長 中道 徹 氏

5) 啓発資料等の配布

ア 会 報

センターの活動状況、海外の古紙に関する情報等を会報(年4回、1,100部/回)として発行した。

イ 古紙ハンドブック

隔年発行の『古紙ハンドブック 2025』を作成し配布した。また、隔年発行の『自治体向け紙リサイクルハンドブック(2025年版)』を作成し、全自治体に配布した。

ウ 啓発資料の配布

啓発資料は地方自治体・関係団体等へ提供を行った。

内 訳	件数
チラシ、パンフレットの提供	78件
啓発用パネルの貸出し	4件

エ PR TIMES への掲載

PR TIMES にセンター活動を掲載し、情報発信に努めた。

オ ホームページ

報告書の公開及び統計データ等の更新を行い、情報発信に努めた。

6) 紙リサイクルコンテスト

17 回目となる「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2025」は、令和元年度から継続して文部科学大臣賞の交付を受け、また、応募点数の増加のために内容の充実を図り、2,112 点の応募があった。

全国小中学校環境教育研究会をはじめとする教育関係者等による厳正な審査のうえ、文部科学大臣賞や金賞などの各賞を決定した。

文部科学大臣賞、金賞及び特別金賞受賞者を招いて表彰式を以下のとおり開催した。

日 時	令和8年2月28日(土) 13時30分～14時30分
会 場	ホテルメトロポリタンエドモント1階「クリスタルホール」
後 援	文部科学省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国市町村教育委員会連合会、全国小中学校環境教育研究会、全国製紙原料商工組合連合会、日本再生資源事業協同組合連合会、段ボールリサイクル協議会、日本製紙連合会

【文部科学大臣賞】

部 門	都道府県	学校名・学年	氏 名	作 品 名
作文	兵庫県	加古川市立氷丘南小学校5年	井 原 彪	友よ、また会う日まで
ポスター	大阪府	大阪市立董中学校3年	中井 悠仁	回してなんぼ 紙も地球も 未来の資源やで

【金賞】

部 門	都道府県	学校名・学年	氏 名	作 品 名
作文	小学生部門 福岡県	明治学園小学校6年	能美 にな	究極の未来の輪の中へ
	中学生部門 大阪府	咲くやこの花中学校2年	森 田 智	紙にもう一度いのちを
ポスター	小学生部門 兵庫県	豊岡市立豊岡小学校4年	田中 優羽	紙リサイクル広げよう
	中学生部門 広島県	広島市立二葉中学校1年	中岡 優里	みんなの未来へ リサイクル

【特別金賞】

部 門	都道府県	学校名・学年	氏 名	作 品 名
全国製紙原料商工組合連合会 理事長賞	北海道	札幌市立資生館小学校6年	縄 乃々香	私たちまだ生まれ変われます! (ポスター)
日本再生資源事業協同組合連合会 会長賞	愛媛県	愛媛大学教育学部附属 小学校2年	若 狭 早	なんと大きなトイレトペーパー (作文)
段ボールリサイクル協議会 会長賞	広島県	広島市立二葉中学校1年	江角 南桜	見つけよう! リサイクルマーク (ポスター)

【銀賞】

部 門	都道府県	学校名・学年	氏 名	作 品 名
作文	小学生部門 愛知県	名古屋市立川原小学校5年	神谷 すみれ	紙一枚から考える未来
	中学生部門 静岡県	静岡市立清水飯田中学校2年	宮 原 心美	生まれ変わる紙「古紙」
ポスター	小学生部門 神奈川県	相模原市立谷口台小学校4年	山 田 恵美	ぼくたちの気持ち
	中学生部門 山口県	岩国市立岩国中学校2年	森本 穂乃佳	未来ヘダンクシュート!!

【銅賞】

部 門	都道府県	学校名・学年	氏 名	作 品 名
作文	小学生部門	東 京 都 荒川区立第二日暮里小学校4年	安 喰 み あ	ざつがみ様をさがせ
		大 阪 府 中之島小中一貫校6年	水野上 タ乃	世界中の人々と地球を笑顔に
		静 岡 県 静岡サレジオ小学校4年	牧 田 桜 子	古紙リサイクルの大切さ
	中学生部門	宮 崎 県 都城市立姫城中学校3年	北 郷 優 斗	都城から考える紙を大切に使う心
		神奈川県 横浜市立中川西中学校3年	友 永 陽 菜	みんなで進める紙リサイクル
		高 知 県 いの町立本川中学校3年	高橋 そよか	リサイクルって、紙の第二章
ポスター	小学生部門	兵 庫 県 姫路市立広畑第二小学校2年	赤 木 紗 彩	せかいじゅうのみんなで紙リサイクル
		福 岡 県 古賀市立古賀東小学校3年	大 嶋 陽 葵	ぼくたちのゴールはリサイクルだ!
		京 都 府 福知山市立惇明小学校5年	迫 田 夏 知	広げよう! つなげよう! 紙リサイクル!
	中学生部門	愛 媛 県 今治市立大三島中学校2年	木 村 佳 奏	リサイクルは離再来る
		東 京 都 北区立稲付中学校3年	金子 かりん	まずは知ろう
		山 形 県 山形大学附属中学校1年	佐 藤 綾 芽	よーいドン! リサイクルのボタンをつなげ!!

【学校特別賞】

都道府県	学校名
東 京 都	荒川区立第三日暮里小学校

【学校奨励賞】

部 門	都道府県	学校名
小学生部門	東 京 都	荒川区立第三日暮里小学校
中学生部門	広 島 県	広島市立二葉中学校

7) 未利用古紙掘り起こし・品質確保等の啓発 他

SDGsと紙リサイクルやセンター事業との関わりについての周知活動、地方自治体からの要望対応等、自治体との関係強化に努めた。

(2) 紙リサイクル普及事業

1) 顕彰制度

ア 集団回収実施団体感謝状贈呈

各地区委員会から推薦のあった集団回収実施団体（51 団体）に感謝状を贈呈した。昭和62 年開始から累計で 1,282 団体となった。

推薦地区	団体名
北 海 道	あかつき町内会女性部、比布町子ども会育成員連絡会、函館市立上湯川小学校、明野柳町内会、鳥取8丁目町内会
東 北	境関町会、新屋十條団地子供会、西大通り振興会、山形市立東沢小学校、ライオンズタワー仙台広瀬自治会、金剛沢北子供会、八幡町子ども育成会
関 東	東日暮里三丁目三河島町会、皿沼子供会、大井水神町会、富一東協和会、玉川学園町内会、相鉄団地南子供会、ラミーユ松戸ハイライズ自治会、川口市内障害者施設運営団体連絡会、川口市新井町町会、城山校区輝く子ども会、引田悠々クラブ、坂東市立岩井中学校PTA、霧が丘グリーンタウン第一自治会
新 潟	田家2丁目PTA、陽光自治会、社会福祉法人中越福祉会みのわの里工房ゆきわり、上木戸緑町自治会
中 部	下宇坂小学校、星崎学区公民会、妙興寺南子供会、加納西自治会連合会、城山一丁目自治会、金沢市立米丸小学校育友会
近 畿	三輪小学校、三和幼稚園・小学校PTA、五位堂幼稚園・小学校PTA、シティタワー東梅田パークフロント、シティタワー大阪天満、ザ・上本町タワー、なかもずアイランズ、なかもずALLZ
九 州	天神山地区自治会、春日原自治会、依井長寿会、小城市立小城小学校、城山台2丁目自治会、松原町自治会、出水南校区10町内愛育会、松崎第一町内会

イ 集団回収特別活動表彰

集団回収の継続的な実施及び集団回収によって得た収益金の一部を外部団体への寄付や地域への還元といった公益目的に資する活動を実施した明野柳町内会に対して集団回収特別活動賞を贈呈した。

2) グリーンマーク

令和7年度の申請に関しては下表のとおり承認した。

【表示承認】	令和7年度	累計	【表示内容変更】	令和7年度
事業者数	事業者（新規承認事業者 4 件）	218 事業者	事業者数	2 事業者
件数	10 件	828 件	件数	4 件

3. 調査研究事業

家庭系可燃ごみの有料化に関する調査や事業系古紙の焼却工場への搬入規制に関する調査、世界の段ボール原紙やパルプ、家庭紙の海外市場調査などこれまで十分行ってこなかった内容の調査にも取り組んだ。



(1) 国内資源化調査

1) 雑誌・雑がみ・オフィス古紙調査

家庭系可燃ごみの有料化の効果に関する調査を行った。また、一般消費者を対象にしたオンラインアンケートによる雑がみの排出に関する意識調査を実施した。

2) 地方自治体古紙関連施策調査

事業系古紙の焼却工場への搬入規制を行っている自治体 5 市へヒアリング調査を行い、その結果を報告書にまとめた。

また、都市部のマンション等集合住宅における集団回収を推進するにあたって、その基礎調査として都市部における集団回収制度の運用実態や回収量の推移について調査を実施した。

3) 新技術に対応した紙リサイクル促進に関する調査研究

リサイクル性の観点で、環境対応の紙・プラ複合素材に関する情報の収集に努めた。

4) 未利用古紙の回収ネットワーク構築

未利用古紙の実状や回収の課題の把握に努めた。

5) 外部組織とのパートナーシップ

- ア 紙製容器包装リサイクル推進協議会／技術委員会
- イ (一社) 機密情報抹消事業者協会
- ウ 日本製紙連合会／プロジェクト・P 推進協議会
- エ (公財) 日本容器包装リサイクル協会
- オ (公社) 日本包装技術協会／包装技術委員会 (ISO1860 委員会)
- カ 越谷市廃棄物減量等推進審議会

(2) 海外市場調査

9月24日・25日に上海にて開催された海外セミナーに関係者を派遣して世界の段ボール原紙やパルプ、家庭紙の海外市場動向などの情報を収集し、関係者へ提供した。

(3) 統計調査

1) 古紙統計年報

古紙の入荷量・消費量データを基に古紙統計をとりまとめ、関係各方面に提供した。

2) 国内統計・資料作成

経経済産業省紙パルプ統計（生産・出荷・在庫統計、原材料統計）、財務省貿易統計（古紙、紙類、パルプ）等のデータについて収集・整理・分析・加工するとともに、製紙メーカーを対象に紙・板紙の生産量、紙・板紙生産のために要した繊維原料（古紙、パルプ等）などについて調査・集計し、以下の統計をまとめ、ホームページ等を活用し、広く一般に提供した。

- ア 年間古紙需給統計
- イ 古紙需給推移（品種別）
- ウ 紙・板紙向別古紙品種別消費量推移
- エ 古紙回収率推移
- オ 古紙利用率推移
- カ 古紙品種別輸出先別輸出実績
- キ 古紙品種別輸入先別輸入実績
- ク 中国の古紙輸入量（品種別）
- ケ 古紙消費原単位

3) 海外統計

中国造紙協会、欧州製紙連合会、米国森林製紙協会の古紙関連統計データを収集し、関係各方面に提供した。

4. 紙の資源リサイクル安定化対策事業

長期ビジョン「サステナブルチャレンジ 2050」の具体化に向け、令和6年度に紙リサイクルの課題を取りまとめた中期ロードマップ「Towards 2030 & Beyond」に基づき取り組みを開始した。



(1) 古紙余剰対策事業

1) 紙リサイクル維持対策（備蓄事業）

センターの備蓄事業は実施しなかった。

(2) 紙の資源リサイクル安定化施策事業

1) 海外調査研究

アジア主要各国の古紙輸入状況を調査し、関係者へ情報提供した。

2) リサイクル方法の調査研究

低質古紙の製紙原料以外への利用実態を調査し、報告書に取りまとめた。

3) 紙リサイクルの維持

ア 雑がみ回収促進社会実験「雑がみさまを探せ!」

可燃ごみに混ざっている雑がみの周知と分別強化を目的とした啓発活動「雑がみさまを探せ!」を全国で実施した。また、啓発で使用する啓発資材を作成した。

地 区	地区別件数	イベント・実施学校名等
北海道	1	リサイクルペーパーフェア
東北	1	いわき大王製紙株式会社
	2	ふくしまSDGs未来博
	3	あおもり環境フェア
	4	やまがた環境展2025
	5	いちのせき産業まつり商工祭
	6	仙台市エコフェスタ2025
関東	1	朝霞市立朝霞第四小学校
	2	朝霞市立朝霞第二小学校
	3	荒川区立第一日暮里小学校
	4	荒川区立第二日暮里小学校
	5	荒川区立ひばり小学校
	6	荒川区立尾久宮前小学校
	7	荒川区立尾久西小学校
	8	台東区立蔵前小学校
	9	台東区こども環境委員会
	10	イオンモール上尾
	11	エコメッセちば
	12	川口市市産品フェア
	13	くらしフェスタ東京 交流フェスタ2025
	14	木更津オーガニックシティフェスティバル
	15	佐倉市リサイクルフェア
	16	鹿沼エコライフフェア
	17	埼玉県庁オープンデー
	18	彩の国ビジネスアリーナ
	19	跡見学園女子大学(エコプロ2025)
	20	新座市役所
	21	練馬区立春日町リサイクルセンター(跡見学園女子大学)

地 区	地区別件数	イベント・実施学校名等
関東	22	Chiba Winter Fes 2026(千葉大学)
	23	ラグビーリーグワン NECグリーンロケッツ東葛ホストゲーム
	24	加茂市立石川小学校
	25	第2回自然共生のみらい会議
静岡	1	富士市立田子浦小学校
	2	富士市立天間小学校
	3	富士市立丘小学校
	4	静岡県工業技術研究所フェア
中部	1	豊田市緑化センター 環境フェア
	2	環境デーなごや
	3	いしかわ環境フェア2025
	4	震災復興いしかわ小中学生リフレッシュスポーツ祭
	5	王子杯争奪少年野球大会
	6	金沢文化スポーツコミッション(石川県スポーツ大会)
近畿	1	ごみ減量フェスティバル ガレージセール・イン・OSAKA TOWN
	2	芦屋市環境フェスタ
中四国	1	高松市立高松第一小学校・中学校
九州	1	八代市立麦島小学校
	2	北九州エコライフステージ
	3	株式会社イワフチ
	4	佐賀大学本庄キャンパス
	5	鍋島幼稚園おひさまハウスエコクラブ
	6	ボーイスカウト佐賀第3団ビーバー隊・カブ隊

【啓発作成物】	1	啓発チラシ	3	のぼり旗	5	パネル	7	バルーンPOP
	2	啓発袋	4	ビブス	6	ロールアップバナー	8	テーブルクロス

イ 地域循環共生社会づくりに係る企画・運営及び広報

「雑がみさまを探せ!」を中心とした多様なステークホルダーとの接点構築や啓発のための企画・運営、それに伴う広報活動実施のための準備を行った。

令和7年度は紙製容器包装・雑がみの分別及び回収の促進に向けて、市民の行動変容を促す啓発活動を推進するため、名古屋市、中部製紙原料商工組合及び古紙再生促進センターとで連携協定を締結した。

ウ 中学、高校等での雑がみ啓発授業

ESD (Education for Sustainable Development: 持続可能な開発のための教育) 専門家の協力を得て、千葉市内の中学校1校にて8コマ(45分×8回)の雑がみ啓発授業を実施した。最後の授業では、自治体、資源回収組合、NPO、市民団体、教育関係者等紙リサイクルに関する様々なステークホルダーが参加し、生徒が雑がみ回収促進のためのアイデアを紹介する発表会を行った。

エ 千葉大学環境 ISO 学生委員会との連携事業

千葉大学環境 ISO 学生委員会の有志メンバー6名が参加し、11月26日に東京都内にある製紙工場・古紙問屋の見学会を開催した。

また、2月15日に開催された同学生委員会主催の「Chiba winter fes2026」にブース出展し、親子連れを中心に約130名へ雑がみの啓発を行った。なお、ブースの運営は、見学会参加メンバーを中心に学生にも協力いただいた。

オ こどもエコクラブとの連携事業

令和7年度は佐賀県のこどもエコクラブ限定で「雑がみさまを探せ!」実施クラブを募集し、申し込みのあった3団体に雑がみ啓発袋の提供を行った。

カ 東京23区基礎情報データベース作成

東京23区の実態把握を目的として、東京23区における基礎情報や組成分析調査の実施状況、環境啓発施設情報などのデータ収集を行い、東京23区基礎情報データベース作成を行った。本調査は令和7年度から令和8年度にかけて実施する。

キ 紙リサイクルを巡る課題対応

パッケージの複合素材が増加し、マテリアルリサイクルの課題も複雑化する方向にあることから、関連業界全体で情報共有とリサイクルプロセスの最適化を模索する手始めとして、パッケージ専門家から四半期ごとにパッケージトレンドトピックスレポートを提供いただき、会員会社へ情報提供した。

ク 古紙問屋のDXモデル事業

古紙問屋1社に専門家を派遣してDX化が必要な業務を検討し、古紙を回収するトラックの動態管理と回収ルート最適化を図るシステムを導入するモデル事業を令和7年2月から行う予定であったが、対象問屋の都合により開始時期を令和8年2月に変更した。なお、モデル事業は6か月間を予定している。

5. その他の事業

各地区委員会において古紙に関する情報交換、研修会等を実施した。

6. 公益目的事業以外のセンター運営活動

業務委員会、国際委員会、家庭紙委員会、各地区委員会において、紙リサイクルシステム維持等に向けて、定期的な紙リサイクルに関する意見交換を通じて、円滑なセンター運営を心がけ、一層の情報発信に努めた。

7. センターの運営体制の充実を図るための取組

(1) 「サステナブルチャレンジ2050・共創共生」のとりまとめ

センターは、2024年（令和6年）春に公表した「サステナブルチャレンジ2050・共創共生」について、紙リサイクルの中長期課題への取り組みにおいて、定量的アプローチ及び定性的アプローチをベースとして、様々なステークホルダーからのご意見等を踏まえ、「企業と人が変わる」、「環境と技術で変わる」、「社会と地域が変わる」の3テーマを軸に、20の課題をとりまとめた。

(2) 「Towards 2030 & Beyond」の実施

「サステナブルチャレンジ 2050・共創共生」でとりまとめられた課題に基づき、令和7年度からは、5か年計画の中期的ロードマップである「Towards 2030 & Beyond」（令和6年度策定）を実施し、具体的なアクションの一つとして、未利用古紙の回収・利用等を目指した、地域循環共生社会づくり・啓発モデル実験「雑がみ掘り起こしに向けて」に取り組んでいるところである。

中でも、パートナーシップ深化を図るため、名古屋市、中部製紙原料商工組合、古紙再生促進センターの3者が、「紙製容器包装・雑がみの分別及び回収促進に資する啓発活動に関する協定」を令和8年3月に締結した。本協定は、紙リサイクルを起点に地域の資源循環と環境意識の向上を図る地域循環共生社会づくりモデルの構築を目指すための具体的な地域実践の一つとして位置付けられるものである。

(3) 規程類の整備について

公益認定法が、令和7年4月に改正・施行されたことを契機として、必要となる規程類の整備を進め、組織運営を円滑に行うためのルールを定めることにより、ガバナンスの強化を推進することに加え、センターの運営体制の充実を図る取組に資するものである。

なお、令和7年度に新たに制定した規程は以下のとおりである。

①情報公開規程、②個人情報保護規程、③倫理規程、④公益通報者保護規程、⑤コンプライアンス規程、⑥情報システムの運用管理規程、⑦文書規程

また、令和7年度に、改定を行った規程は以下のとおりである。

①賛助会員規程、②事務局規程、③寄附金等取扱規程、④契約事務取扱規程、⑤公印取扱規程、⑥就業規則、⑦育児休業規程、⑧介護休業規程、⑨役員等旅費支給内規、⑩海外出張旅費等の支給内規、⑪地区委員会事務局員に係る内規、⑫公益充実資金取扱規則（特定費用準備資金取扱規則から名称変更）

(4) 外部専門家の利用・モニタリング機能の強化

公認会計士及び税理士との顧問契約、社会保険労務士との顧問契約、弁護士との顧問契約、監査法人との任意監査契約を行っている。これにより、ガバナンス体制の構築・運用について不明点等がある場合、外部専門家に適宜助言や指導を仰ぐことができ、結果、有効なガバナンス体制の構築・運用を効率的に進められている。

また、監査法人からの決算に係る具体的な指導等により、当センターの決算処理のレベル向上に役立っている。

(5) 公益法人の機関別における具体的取組

令和7年6月に開催された評議員会において、関係団体等の外部理事9名を含む14名の理事、外部監事2名を含む2名の監事が選任された。また、外部理事、監事の役割を全うするため、当センターの活動状況等をまとめた年4回の会報の送付、年10回の業務委員会における議事要旨の送信、加えて統計資料や調査報告書等について、常時閲覧可能なホームページ上で公開するなど、当センター業務の情報提供に努めている。

貸借対照表

令和 8 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現金預金	163,199,097	162,142,537	1,056,560
流動資産合計	163,199,097	162,142,537	1,056,560
2. 固 定 資 産			
(1) 基本財産			
定期預金	26,000,000	26,000,000	0
基本財産合計	26,000,000	26,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	13,594,200	11,704,400	1,889,800
役員退職慰労引当資産	16,366,000	13,762,000	2,604,000
運用準備基金	2,054,355,036	2,054,355,036	0
未利用古紙掘り起し・品質確保等の広報資金	39,212,045	39,212,045	0
未利用古紙・新技術等の調査研究資金	152,155,708	152,836,011	△ 680,303
特定資産合計	2,275,682,989	2,271,869,492	3,813,497
(3) その他固定資産			
建物付属設備	1	1	0
什器備品	108,700	284,428	△ 175,728
ソフトウェア	1,318,680	0	1,318,680
保証金	14,788,404	14,079,552	708,852
その他固定資産合計	16,215,785	14,363,981	1,851,804
固定資産合計	2,317,898,774	2,312,233,473	5,665,301
資産合計	2,481,097,871	2,474,376,010	6,721,861
II 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未払金	7,614,295	7,255,138	359,157
預り金	468,537	400,643	67,894
賞与引当金	4,043,900	4,200,500	△ 156,600
役員賞与引当金	2,950,000	2,950,000	0
流動負債合計	15,076,732	14,806,281	270,451
2. 固 定 負 債			
退職給付引当金	13,594,200	11,704,400	1,889,800
役員退職慰労引当金	16,366,000	13,762,000	2,604,000
固定負債合計	29,960,200	25,466,400	4,493,800
負債合計	45,036,932	40,272,681	4,764,251
III 正 味 財 産 の 部			
1. 指 定 正 味 財 産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一 般 正 味 財 産	2,436,060,939	2,434,103,329	1,957,610
(うち基本財産への充当額)	26,000,000	26,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	2,245,722,789	2,246,403,092	△ 680,303
正味財産合計	2,436,060,939	2,434,103,329	1,957,610
負債及び正味財産合計	2,481,097,871	2,474,376,010	6,721,861

正味財産増減計算書

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで

(単位: 円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	32,500	521	31,979
基本財産受取利息	32,500	521	31,979
特定資産運用益	9,954,246	1,980,324	7,973,922
特定資産受取利息	9,954,246	1,980,324	7,973,922
受取会費	202,450,042	208,483,282	△ 6,033,240
賛助会員受取会費	202,450,042	208,483,282	△ 6,033,240
受取寄付金	0	658,460	△ 658,460
受取寄付金	0	658,460	△ 658,460
雑収益	937,235	584,393	352,842
雑収益	937,235	584,393	352,842
経常収益計	213,374,023	211,706,980	1,667,043
(2) 経常費用			
事業費	189,623,335	189,676,163	△ 52,828
役員報酬	20,726,000	20,726,000	0
給料手当	44,749,000	44,116,000	633,000
福利厚生費	9,663,000	10,003,000	△ 340,000
役員賞与引当金繰入額	2,715,000	2,715,000	0
賞与引当金繰入額	3,591,000	3,750,000	△ 159,000
役員退職慰労引当金繰入額	2,395,000	2,394,000	1,000
退職給付費用	1,594,000	3,466,000	△ 1,872,000
会場費	3,682,192	5,165,136	△ 1,482,944
資料作成費	103,655	927,280	△ 823,625
啓発活動費	6,628,833	3,064,000	3,564,833
広告料	528,000	220,000	308,000
システム費	3,314,326	3,823,550	△ 509,224
委託費	28,982,698	25,705,257	3,277,441
会議費	487,892	596,785	△ 108,893
旅費交通費	8,505,854	8,177,088	328,766
通信運搬費	4,971,622	4,122,590	849,032
減価償却費	297,000	489,000	△ 192,000
消耗品費	2,644,653	3,152,746	△ 508,093
印刷製本費	7,211,912	10,832,088	△ 3,620,176
新聞図書費	1,812,270	1,739,572	72,698
水道光熱費	1,184,000	1,201,000	△ 17,000
賃借料	25,526,918	25,232,830	294,088
諸会費	1,942,341	1,131,040	811,301
諸謝金	557,077	370,832	186,245
租税公課	101,000	24,400	76,600
支払手数料	42,371	36,740	5,631
雑費	148,858	114,835	34,023
地区事業費	5,516,863	6,379,394	△ 862,531

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
管理費	21,793,078	27,701,151	△ 5,908,073
役員報酬	1,802,780	1,802,780	0
給料手当	3,200,866	3,125,920	74,946
福利厚生費	766,467	786,471	△ 20,004
役員賞与引当金繰入額	235,000	235,000	0
賞与引当金繰入額	452,900	450,500	2,400
役員退職慰労引当金繰入額	209,000	210,000	△ 1,000
退職給付費用	295,800	79,100	216,700
広告料	198,000	180,000	18,000
システム費	207,337	304,272	△ 96,935
委託費	387,200	390,000	△ 2,800
会議費	5,802,799	11,824,071	△ 6,021,272
旅費交通費	43,296	40,738	2,558
通信運搬費	152,367	145,493	6,874
減価償却費	25,248	41,433	△ 16,185
消耗品費	164,368	129,666	34,702
印刷製本費	12,250	12,100	150
新聞図書費	21,614	21,750	△ 136
水道光熱費	99,220	101,383	△ 2,163
賃借料	2,115,508	2,118,761	△ 3,253
諸会費	79,600	79,600	0
諸謝金	4,854,998	4,576,123	278,875
租税公課	7,100	37,500	△ 30,400
支払手数料	336,120	380,309	△ 44,189
雑費	323,240	628,181	△ 304,941
経常費用計	211,416,413	217,377,314	△ 5,960,901
当期経常増減額	1,957,610	△ 5,670,334	7,627,944

2. 経常外増減の部

(1) 経常外収益

経常外収益計	0	0	0
--------	---	---	---

(2) 経常外費用

経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,957,610	△ 5,670,334	7,627,944
一般正味財産期首残高	2,434,103,329	2,439,773,663	△ 5,670,334
一般正味財産期末残高	2,436,060,939	2,434,103,329	1,957,610

II 指定正味財産増減の部

当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0

III 正味財産期末残高	2,436,060,939	2,434,103,329	1,957,610
---------------------	----------------------	----------------------	------------------

財産目録

令和 8 年 3 月 31 日現在

(単位: 円)

貸借対照表科目		場 所 ・ 物量等	使 用 目 的 等	金 額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	163,987
	普通預金	三井住友銀行 京橋支店	} 運転資金として	160,690,271
		三菱UFJ銀行 東京公務部		390,543
		三井住友信託銀行 本店営業部		848,090
		商工組合中央金庫 上野支店		152,902
		三井住友銀行 京橋支店		283,316
		三井住友銀行 京橋支店		203,857
		静岡銀行 富士中央支店		114,246
		三井住友銀行 京橋支店		133,222
		肥後銀行 八代駅前支店		218,663
		現金預金計		163,199,097
流動資産合計				163,199,097
(固定資産)				
基本財産	定期預金	定期預金 三井住友信託銀行 本店営業部	運用益を管理業務の用に供する財産	26,000,000
		基本財産計		26,000,000
特定資産	退職給付引当資産	定期預金 三井住友銀行 京橋支店	職員の退職金支給に備えた積立資産	13,594,200
	役員退職慰労引当資産	定期預金 三井住友銀行 京橋支店	役員の退職慰労金支給に備えた積立資産	16,366,000
	運用準備基金	普通預金 三井住友銀行 京橋支店	} 公益目的保有財産であり 運用益を公益目的事業の 用に供する財産	259,955,036
		定期預金 三井住友銀行 京橋支店		300,000,000
		定期預金 三菱UFJ銀行 東京公務部		200,000,000
		定期預金 三井住友信託銀行 本店営業部		300,000,000
		定期預金 商工組合中央金庫 上野支店		200,000,000
		第370回利付国債(10年)		99,361,000
		第372回利付国債(10年)		98,912,000
		第374回利付国債(10年)		98,957,000
		第377回利付国債(10年)		99,690,000
		第378回利付国債(10年)		198,671,000
		第379回利付国債(10年)		99,145,000
		第380回利付国債(10年)		99,664,000
	未利用古紙掘り起し品 質確保等の広報資金	普通預金 三井住友銀行 京橋支店	公益充実資金で公益目的事業 (公2)の用に供する財産	39,212,045
	未利用古紙・新技術 等の調査研究資金	定期預金 三井住友銀行 京橋支店	公益充実資金で公益目的事業 (公3)の用に供する財産	152,155,708
その他固定資産		特定資産計		2,275,682,989
	建物付属設備	事務所パーティション一式	管理業務の用に供する財産	1
	什器備品	事務用機器一式	管理業務の用に供する財産	108,700
	ソフトウェア	名簿管理システム	管理業務の用に供する財産	1,318,680
	保証金	事務所賃貸敷金	管理業務の用に供する財産	14,788,404
		その他固定資産計		16,215,785
固定資産合計				2,317,898,774
資産合計				2,481,097,871
(流動負債)				
	未払金	(有)グローバルプランニング他	委託費、印刷製本費、会場費、 通信運搬費他	7,614,295
	預り金	役員分	源泉所得税、住民税の預り分	468,537
	賞与引当金	職員分	職員の賞与支給に備えたもの	4,043,900
	役員賞与引当金	役員分	役員の賞与支給に備えたもの	2,950,000
流動負債合計				15,076,732
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員分	職員の退職金支給に備えたもの	13,594,200
	役員退職慰労引当金	役員分	役員の退職慰労金支給に備えたもの	16,366,000
固定負債合計				29,960,200
負債合計				45,036,932
正味財産				2,436,060,939

公益財団法人古紙再生促進センター評議員名簿

令和8年6月17日現在（敬称略）

氏 名	所属会社・団体名等
安 藤 圭 一	株式会社三井住友銀行 元代表取締役兼副頭取執行役員 (現 銀泉株式会社非常勤特別顧問)
磯 貝 明	東京大学特別教授
磯 野 裕 之	王子ホールディングス株式会社 代表取締役 社長執行役員 CEO
梅 田 慎 也	株式会社宮崎 代表取締役会長
大 坪 清	レンゴー株式会社 代表取締役会長 兼 CEO
佐 野 一	株式会社丸興佐野錦一商店 代表取締役会長
瀬 邊 明	日本製紙株式会社 代表取締役社長
畑 俊 一	株式会社山室 名誉会長
服 部 弘	弁護士
平 井 成 子	全国牛乳パックの再利用を考える連絡会 代表
村 山 憲 二	公認会計士

公益財団法人古紙再生促進センター役員名簿

令和8年6月17日現在（敬称略・順不同）

役 職	氏 名	所属会社・団体名等
代 表 理 事 (理 事 長)	長 谷 川 一 郎	レンゴー株式会社
業 務 執 行 理 事 (副 理 事 長)	鎌 田 和 彦	王子ホールディングス株式会社
業 務 執 行 理 事 (副 理 事 長)	佐 藤 耕 一	日本製紙株式会社
業 務 執 行 理 事 (副 理 事 長)	大 久 保 信 隆	株式会社大久保
業 務 執 行 理 事 (副 理 事 長)	上 田 晴 健	三弘紙業株式会社
業 務 執 行 理 事 (専 務 理 事)	川 上 正 智	公益財団法人古紙再生促進センター
業 務 執 行 理 事 (常 務 理 事)	櫻 井 孝 史	公益財団法人古紙再生促進センター
理 事	飯 田 俊 夫	飯田環境クリーン株式会社
理 事	石 墳 守 男	機械すき和紙連合会
理 事	磯 野 晶 則	株式会社磯野商店
理 事	岩 渕 慶 太	株式会社イワフチ
理 事	遠 藤 豊	日本紙パルプ商事株式会社
理 事	大 場 達 哉	三菱製紙株式会社
理 事	河 村 篤 前	河村商事株式会社
理 事	北 村 貴 則	大和板紙株式会社
理 事	佐 々 木 和 弘	公益財団法人日本容器包装リサイクル協会
理 事	佐 藤 久 恒	一般社団法人日本印刷産業連合会
理 事	塩 瀬 宣 行	大和紙料株式会社
理 事	白 峰 幹 郎	大王製紙株式会社
理 事	鈴 木 滋 敏	株式会社鈴剛
理 事	田 北 裕 之	大分製紙株式会社
理 事	田 村 敬 史	新東海製紙株式会社
理 事	富 澤 進 一	株式会社富澤
理 事	長 谷 川 裕 一	株式会社もっかいトラスト
理 事	服 部 誠	興亜工業株式会社
理 事	原 田 隆 行	日本製紙連合会
理 事	峯 島 克 史	北越コーポレーション株式会社
理 事	山 田 和 広	株式会社山傳商店
理 事	吉 浦 高 志	株式会社久米川紙業
監 事	松 田 明 彦	丸三製紙株式会社
監 事	永 田 耕 太 郎	永田紙業株式会社

理事会報告

お知らせ

センター日誌



全国小中学生 “紙リサイクル”コンテスト 2026 募集開始のお知らせ

今年度も全国小中学生“紙リサイクル”コンテストを開催することとなりました。

本コンテストは次世代を担う小中学生に、資源の有効利用である「紙リサイクル」について関心を持ってもらうことを目的として、全国の小中学生から紙リサイクルに関する活動をテーマとした作文・ポスターを募集しています。

今年度の募集チラシや過去の受賞作品を掲載しています。内容をご確認いただき、日頃からお付き合ひのある小学校・中学校に本コンテストをご紹介頂ければ幸いです。

テーマ

紙リサイクルに関する活動・体験やアイデア
紙リサイクル活動と持続可能な社会づくり
雑がみリサイクルの体験やアイデア

募集対象

全国の小学生・中学生なら
どなたでも

締切

2026年11月27日（金）

募集部門

- ①作文小学生部門
- ②作文中学生部門
- ③ポスター小学生部門
- ④ポスター中学生部門

昨年の受賞作品



紙リサイクルコンテスト 2025
文部科学大臣賞 ポスター部門



紙リサイクルコンテスト 2025
金賞 ポスター小学生部門



紙リサイクルコンテスト 2025
金賞 ポスター中学生部門

上記は受賞作品の一部です。
過去の受賞作品はこちら！



今年度の募集チラシはこちら！
自由にダウンロード・印刷して
ご活用ください。



全国小中学生

紙リサイクルコンテスト

今年で
第18回

締切

紙
リサイクルの
事を考えて
みよう。

募集
テーマ

- ▶ 紙リサイクルに関する活動・体験やアイデア
- ▶ 紙リサイクル活動と持続可能な社会づくり
- ▶ 雑がみリサイクルの体験やアイデア

2026年
11/27 金
当日消印有効



紙リサイクル促進大使
カミリヤマとカミリちゃん

応募者全員に
紙リサイクルノート
プレゼント!!

最優秀作品には
図書カード5万円分を贈呈!
他各賞、学校賞あり!!

団体応募は
30作品以上の応募で、
事務局が送料負担!!

2025年度 文部科学大臣賞作品

最優秀
作品



ポスター部門 中学3年生

友よ、また会う日まで
紙リサイクルは、資源の引っこた。次の
場所まで送るべく、くちくち、くちくち、
をくり出してあげよう。くちくち、くちくち、
今年の夏に、くちくち、くちくち、くちくち、
で、紙のリサイクルに、くちくち、くちくち、
た。引っこたは、紙やダンボールといっ
ん、資源材を使用する、家族の大切を思い出
荷物を、紙たちがやさしく包んで、くちくち、
た。引っこたは、紙たちがやさしく包んで、くちくち、
屋のすみ、くちくち、くちくち、くちくち、
た。引っこたは、紙たちがやさしく包んで、くちくち、

作文部門 小学5年生



過去の受賞作品も
ホームページで
公開しています

ホームページでは受賞作品のほかに
作品づくりのコツなど公開中!!

HPはこちら /



応募・お問い合わせ先

全国小中学生紙リサイクルコンテスト事務局 (JOBBOOT内)
〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-31-11 KSビル4F
電話: 03(6403)3383 FAX: 050(6875)7592
メール: contest@jobboot.co.jp

紙リサイクルコンテスト 検索

令和8年度 センター日誌

4月～6月分

理事会報告

お知らせ

センター日誌

月	日	会議名	主要議題
4月	9日(木)	九州地区委員会	① 令和8年3月～4月の九州地区古紙需給状況及び品質について ② 令和7～8年度地区委員名簿について ③ 令和8年度(2026年)地区活動計画、継続事業について ④ 令和8年度九州地区委員会総会(6月11日開催) ⑤ 家庭紙メーカーの九州地区委員会参画について ⑥ その他
	15日(水)	中部地区委員会 東海分会	① 古紙の需給・市況動向について ② 令和8年度出前授業について ③ 名古屋市との協定について ④ その他
	21日(火)	関東地区委員会 (Web会議システム併用)	① 古紙需給動向(古紙問屋) ② 古紙及び製品需給動向(製紙会社) ③ 古紙品質トラブル報告 ④ 令和7年度関東地区古紙開梱組成品質調査結果について(報告) ⑤ 段ボール、新聞、雑誌古紙 2026年1月～3月消費実績 2026年4月～9月消費計画 ⑥ パッケージトレンドピックアップ ⑦ その他 ○日本製紙連合会 「製紙業界の古紙利用率目標の改定に関する件」(2026年3月23日発表) ○関係団体主催の会合等に出席(報告) 4月16日(木)全国製紙原料商工組合連合会 「再資源化事業等高度化法の認定制度活用に関する意見交換会」 ○紙リサイクル出前授業 4月22日(水) チャレンジド(障害者就労支援事業所) 4月29日(水) 世田谷区リサイクル千歳台 6月16日(火) 足立区立中島根小学校 6月20日(土) 中央区環境情報センターエコノバ 7月2日(木) 足立区立千寿常東小学校 7月11日(土) 板橋区リサイクルプラザ 7月22日(水) 中野区リサイクル展示室 10月15日(木) 足立区立桜花小学校 ○令和8年度集団回収感謝状贈呈式等について ○今後の関東地区委員会の開催予定

月	日	会議名	主要議題
4月	23日(木)	静岡地区委員会 (Web会議システム併用)	① 古紙の需給・市況動向について 古紙の市況動向・品質状況報告 ② 事務局からの連絡事項 ○令和8年度センター事業計画について ○広報事業について ・紙リサイクル出前授業について ・雑がみ分別・回収啓発促進活動について ○地区事業について ・活性化行事 情報・意見交換会の開催について ・活性化行事 研修会の内容について ③ その他 ○今後の静岡地区委員会の開催予定
	24日(金)	近畿地区委員会	① 古紙の需給・市況動向について ② その他 今後の近畿地区委員会等の開催予定
	27日(月)	4月度 常任 理事会	① 理事会と定時評議員会の招集及びその目的事項について ② 任期満了等に伴う理事候補者について ③ 令和7年度決算見込みについて ④ 6/1通常理事会 職務執行状況の報告について(案) ⑤ 集団回収実施団体への感謝状贈呈について(北海道・九州地区委員会の推薦) ⑥ 全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2026について ⑦ 監事監査規定の制定について ⑧ 国債の保有状況について ⑨ その他 ・今後のスケジュールについて
		第1回 業務 委員会 (Web会議システム併用)	① 各地区の古紙の需給・市況動向について ② 2026年4月～9月段ボール・新聞・雑誌の消費計画について ③ 集団回収実施団体への感謝状贈呈について(北海道・九州地区委員会の推薦) ④ 2025年度(令和7年度)古紙品質調査について(報告) ⑤ その他 ・今後の業務委員会等の開催予定
5月	13日(水)	財務委員会	① 令和7年度事業報告(案)について ② 令和7年度決算報告(案)について ③ 報告事項 国債の保有状況について ④ その他
		東北地区委員会	① 関東地区委員会報告 ② 古紙の需給・市況動向について ③ その他 今後の東北地区委員会等の開催予定

月	日	会議名	主要議題
5月	18日 (月)	監事会	①令和7年度事業報告(案)について ②令和7年度決算報告(案)について ③令和7年度決算説明資料 ④独立監査法人の監査報告書 ⑤監査実施報告書 ⑥監査法人の職務遂行に関する事項について ⑦監事監査規定(案)
	19日 (火)	近畿地区委員会	①古紙の需給・市況動向について ②その他 今後の近畿地区委員会等の開催予定
	26日 (火)	静岡地区委員会 (Web会議システム併用)	①古紙の需給・市況動向について 古紙の市況動向・品質状況報告 ②事務局からの連絡事項 ○委員長の選出について ○広報事業について ・紙リサイクル出前授業の実施計画 ・雑がみ分別・回収啓発促進活動進捗報告 ・富士市制施行60周年イベントについて ・講演会の実施報告 ・集団回収感謝状贈呈について ○令和7年4月～9月の段ボール・新聞・雑誌の消費計画 ○地区事業について ・活性化行事 情報・意見交換会報告 5月16日(土) ③その他 ○今後の静岡地区委員会の開催予定
	27日 (水)	北海道地区委員会	①古紙共販集計表について ②古紙需給動向について ③古紙消費実績と計画対比表について ④令和8年4月～9月古紙消費計画について ⑤北海道商組の古紙仕入・出荷・在庫量調査表について ⑥古紙の消費量と在庫量の推移 ⑦情報交換 ⑧その他 ・令和8年度集団回収感謝状推薦について ・令和8年度リサイクルペーパーフェアについて
		関東地区委員会 (Web会議システム併用)	①古紙需給動向(古紙問屋) ②古紙及び製品需給動向(製紙会社) ③古紙品質トラブル報告 ④その他 ○全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2026について 応募期間：6月上旬～11月27日(金) 当日消印有効 表彰式：(予定)2027年2月27日(土)

月	日	会議名	主要議題
5月	27日 (水)	関東地区委員会 (Web会議システム併用)	○紙リサイクル出前授業 6月9日(火) 横浜市立本町小学校 6月16日(火) 足立区立中島根小学校 6月20日(土) 中央区立環境情報センターエコノバ 6月29日(月) 坂戸市立桜小学校 7月2日(木) 足立区立千寿常東小学校 7月11日(土) 板橋区リサイクルプラザ 7月22日(水) 中野区リサイクル展示室 8月4日(火) 世田谷区松原まちづくりセンター 9月28日(月) 足立区立弥生小学校 10月15日(木) 足立区立桜花小学校 ○令和8年度集団回収感謝状贈呈式等について ・日程：令和9年(2027年)2月5日(金) ・場所：アートホテル日暮里ラングウッド ・スケジュール： 14:00～14:45 メーカー会議 15:00～15:45 関東地区委員会 16:00～16:35 集団回収感謝状贈呈式 16:45～18:45 懇親会 ○今後の関東地区委員会の開催予定
6月	1日 (月)	5月度常任理事会	①通常理事会(6/1)、定時評議員会(6/17)及び臨時理事会(6/16)の上程議案について ②定時評議員会に上程する理事及び評議員の選任(案)について ③評議員会運営規則の改定について ④令和8年度第2回業務委員会議事次第について ⑤その他 ・今後のスケジュールについて
		通常理事会 (Web会議システム併用)	第1号議案 令和7年度事業報告について 第2号議案 令和7年度決算報告について 第3号議案 定時評議員会の開催について 報告事項 職務執行状況について
		第2回業務委員会 (Web会議システム併用)	①通常理事会報告について ②各地区の古紙の需給・市況動向について ③全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2026について ④その他 ・今後の業務委員会等の開催予定

月	日	会議名	主要議題
6月	11日 (木)	九州地区委員会	① 古紙回収状況について ② 令和7年度活動実績及び令和8年度地区委員会行事計画 ③ 九州地区古紙需給状況及び品質について ④ 令和8年度集団回収優良団体について ⑤ SAGAものスゴフェスタ12への出展について ⑥ その他 ・紙リサイクルコンテスト2026の募集について ・地区出前授業計画について
	17日 (水)	定時評議員会 (Web会議システム併用) 臨時理事会 (Web会議システム併用) 第3回業務委員会 (Web会議システム併用)	第1号議案 令和7年度決算報告の承認の件 第2号議案 理事の選任に関する件 第3号議案 評議員の選任に関する件 第4号議案 評議員会運営規則の改定に関する件 報告事項 ① 令和7年度事業報告について ② 令和8年度事業計画及び収支予算の報告について ③ 内閣府による点検調査結果概要について 第1号議案 業務執行理事の選定について 第2号議案 副理事長の選定について 第3号議案 専務理事の選定について 第4号議案 常勤役員の報酬について ① 定時評議員会の報告について ② 臨時理事会の報告について ③ 各地区の古紙の需給・市況動向について ④ その他 ・今後の業務委員会等の開催予定
	18日 (木)	第27回家庭紙委員会 (Web会議システム併用)	① 古紙入荷・消費・在庫(2026年2月～4月)古紙地域別入荷(同上) ② 古紙の需給の現状及び見通しに関する意見交換 古紙発生の現状、見通し、古紙輸出、トピックス等 メーカー消費の現状及び見通し ③ 古紙の品質に関する情報交換 メーカーでの品質トラブル、禁忌品報告 ④ その他 ・今後の家庭紙委員会の開催予定
	19日 (金)	中部地区委員会	① 古紙の需給・市況動向について ② 集団回収感謝状贈呈実施要領について ③ 紙リサイクルコンテスト2026について ④ 「雑がみさまを探せ!」名古屋市との協定について ⑤ その他

月	日	会議名	主要議題
6月	23日 (火)	関東地区委員会 (Web会議システム併用)	① 古紙需給動向(古紙問屋) ② 古紙及び製品需給動向(製紙会社) ③ 古紙品質トラブル報告 ④ その他 ○紙リサイクル出前授業 6月29日(月) 坂戸市立桜小学校 7月2日(木) 足立区立千寿常東小学校 7月11日(土) 板橋区リサイクルプラザ 7月22日(水) 中野区リサイクル展示室 7月29日(水) 朝霞市リサイクルプラザ 8月4日(火) 世田谷区松原まちづくりセンター 9月28日(月) 足立区立弥生小学校 10月15日(木) 足立区立桜花小学校 ○令和8年度集団回収感謝状贈呈式等について ・日程：令和9年(2027年)2月5日(金) ・場所：アートホテル日暮里ラングウッド ・スケジュール： 14:00～14:45 メーカー会議 15:00～15:45 関東地区委員会 16:00～16:35 集団回収感謝状贈呈式 16:45～18:45 懇親会 ○今後の関東地区委員会の開催予定
	24日 (水)	近畿地区委員会	① 古紙の需給・市況動向について ② その他 ・今後の近畿地区委員会等の開催予定
	25日 (木)	静岡地区委員会 (Web会議システム併用)	① 古紙の需給・市況動向について 古紙の市況動向・品質状況報告 ② 事務局からの連絡事項 ○副委員長の交代について ○広報事業について ・紙リサイクル出前授業の実施報告および今後の計画 ・全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2026について ・雑がみ分別・回収啓発促進活動 ③ 地区事業について ○活性化行事 研修会の内容について ④ その他 ○今後の静岡地区委員会の開催予定

センター新入職員のご紹介

当センター北海道地区委員会の新入職員を紹介します。



氏 名 江田 敦（えだ あつし）
役 職 北海道地区委員会 事務局長
生年月日 1961 年 1 月 5 日
入職年月 2026 年 4 月 1 日
略 歴 1985 年 王子製紙株式会社（現王子 HD）入社
入社後は主に人事・経理部門を担当。
王子マテリア株式会社 業務推進本部総務人事部勤務

一言コメント

高校卒業以来の故郷北海道札幌での勤務となります。
今まで培った経験をもとに、自らの職責を果たすべく誠心誠意努めてまいりますので皆様今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

地区委員会事務局

地区	郵便番号	所在地	電話番号	FAX 番号
北海道	060-0002	札幌市中央区北二条西2丁目 リージェントビル5階	011 (271) 1551	011 (232) 0017
東北	980-6003	仙台市青葉区中央4-6-1 住友生命仙台中央 ビル3階 日本紙パルプ商事(株)北日本支社内	022 (225) 3359	022 (261) 4522
関東	104-0042	東京都中央区入船3丁目10番9号 新富町ビル4階	03 (3537) 6822	03 (3537) 6823
静岡	417-0818	富士市末広20番地6 静岡県富士工業技術支援センター内	0545 (35) 5270	0545 (35) 5026
中部	450-0002	名古屋市中村区名駅3丁目25番9号 堀内ビル7階	052 (582) 1836	052 (581) 6943
近畿	541-0052	大阪市中央区安土町1丁目7番13号 トヤマビル7階 日本製紙連合会関西支部内	06 (6262) 6315	06 (6262) 6316
中・四国	799-0492	四国中央市三島紙屋町2番60号 大王製紙(株)内	090 (9019) 2059	
九州	866-0896	八代市日置町320-2 1号棟101号室	0965 (37) 8217	0965 (37) 8218

会報 news
LETTER

第52巻第3号
2026年7月1日

発行所

公益財団法人古紙再生促進センター

〒104-0042 東京中央区入船3丁目10番9号 新富町ビル4F

電話 03 (3537) 6822 (代表)

ホームページ <http://www.prpc.or.jp>

発行人 川上 正智

印刷所 日本印刷株式会社

リサイクル適性[®]

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

古紙再生促進センターは紙リサイクルが担うSDGsの6つの目標を設定しました



公益財団法人 古紙再生促進センター